

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月7日

愛知県知事 殿

提出者

住所 浜松市中区中沢町 71 番 2 3 号

氏名 中村建設株式会社

代表取締役 中村仁志

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

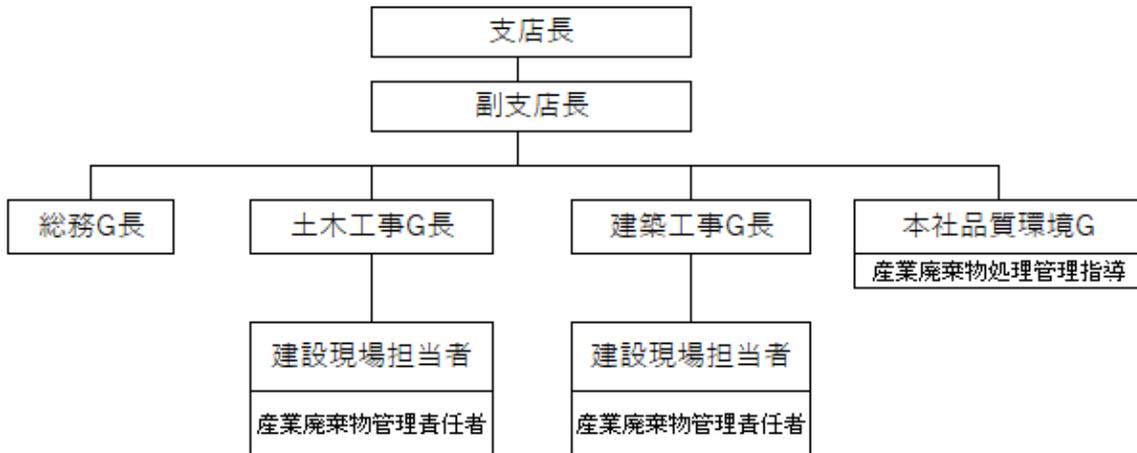
電話番号 053-471-3421

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中村建設株式会社 名古屋支店
事業場の所在地	名古屋市中村区名駅南 3-6-6 名駅豊ビル 1 F
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	06 : 総合工事業
2 事業の規模	元請完成工事高 : 4,400 百万円
3 従業員数	23 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 解体工事現場等における分別解体を実施し、指定副産物の再生利用を徹底させた。段ボール等の梱包を極力減らし、物品の養生資材等も軽微なものとし廃棄物の減量化に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再資源化できるものの分別リサイクルに努める。資材についても施工方法を検討して規格寸法からの端材を少なくするよう努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場状況に合わせて分別用のスペースを確保し分別に努めた。
-----	--

	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場作業員への分別意識の教育指導を図る。
--	-----	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
1 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 無し	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 無し	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
1 現状	【前年度（令和4年度 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 無し	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t

	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3による	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	t	t
	再生利用業者へ の 処理委託量	t	t

		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組) 信頼のおける業者への処理委託と優良処理業者の活用		

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙3による		
	全処理委託量	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引続き信頼のおける業者への処理委託と優良処理業者の活用			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙1) 産業廃棄物の一連の処理工程



令和4年度産業廃棄物排出量及び令和5年度排出目標数量

品目		令和4年度実績					令和5年度目標						
		数量	優良認定業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託数量	認定熱回収業者への処理委託数量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	単位	数量	優良認定業者への処理委託料	再生利用業者への処理委託数量	認定熱回収業者への処理委託数量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託数量	単位
が 類 れ き	コンガラ	1,337.044		1,337.044			t	50.000		50.000			t
	アスガラ	0.000					t	0.000					t
	その他ガラ	0.000					t	0.000					t
汚泥		0.000					t	0.000					t
廃プラスチック類		28.473	13.300	28.473			t	20.000	14.000	20.000			t
金属くず		0.000					t	0.000					t
木くず		9.325		9.325			t	5.000		5.000			t
紙くず		9.150		9.150			t	6.000		6.000			t
繊維くず		0.000					t	0.000					t
及 び 陶 磁 器 く ず コ	廃石膏ボード	28.240		28.240			t	20.000		20.000			t
	ガラス・陶磁器くず	33.900	31.300	33.900			t	30.000	30.000	30.000			t
混 合	安定型	0.000					t	0.000					t
	管理型	9.880		9.880			t	8.000		8.000			t
合計		1,456.012	44.600	1,456.012	0.000	0.000	t	139.000	44.000	139.000	0.000	0.000	t